

畜産環境の改善に向けて

複合微生物資材

Make Clean (メイク・クリーン)



特定非営利活動法人

Eco Cleanup Service 21

TEL・FAX 027-283-8384

e-mail : eco-cleanup-service21@olive.plala.or.jp

[http : //www16.plala.jp/MK4/index.html](http://www16.plala.jp/MK4/index.html)

Make Clean の誕生

畜産経営にとって、地域環境に気配りすることは、経営を継続するうえで不可欠の要件であり、経営の安定と発展を握る鍵になります。

そこで、地域と畜産が共生する橋渡し役として、低コストで最大の効果を発揮する資材 **Make Clean** が生み出されました。

Make Clean は環境保全に貢献する資材です。

Make Clean の効果

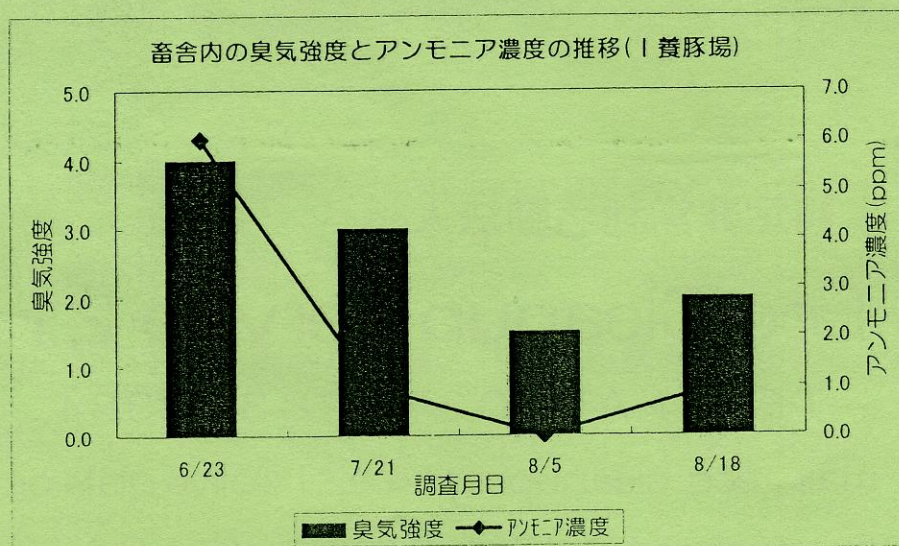
Make Clean は、納豆菌・乳酸菌・酵母など有用微生物を培養した液体資材です。

その効果は、アンモニアを中和し、他の悪臭成分の発生を抑制するなど、畜舎内の消臭や糞尿の消臭に効果を発揮します。

また、堆肥の発酵促進や余剰汚泥の減少などの効果と継続して使うことにより、畜舎環境の改善による事故率の低減、生産性の向上、ハエの発生防止などが畜産農家での試験で確認されました。

耕種農家では、**Make Clean** を使用した堆肥を施用すると、作物の成育、連作障害等にも有効であることが認められるなど、幅広い活用に期待が寄せられております。

あなたが育てる資材それが **Make Clean** です。



Make Clean の使用方法

1 畜舎での利用

牛舎・豚舎は1㎡当たり0.2ℓ、鶏舎は1㎡当たり0.4ℓを基準に散布してください。消臭効果などが得られます。

使用基準(1月当たりの必要量)

酪農(搾乳牛 30 頭、つなぎ牛舎)の場合：

バークリーナーに原液を毎日散布(300ℓ/月)

酪農(搾乳牛 100 頭、フリーストール)の場合：

全通路に5倍希釈し毎日散布(400ℓ/月)

養豚(母豚 100 頭一貫経営)の場合：

10倍希釈液を1週間に2回散布(400ℓ/月)

肉牛(肥育牛 100 頭)の場合：堆肥舎に原液を月に3回散布(170ℓ/月)

2 堆肥舎での利用

水分調整後に処理量の0.5%程度を混合し、更に切り返し時に噴霧すると消臭効果と発酵促進効果が得られるとともに、生産堆肥の品質が向上し土壌の活性化に有効です。

3 貯尿槽や汚水浄化施設への利用

貯尿槽、原水槽、曝気槽に日排水量に対し1%程度投入すると臭気の軽減や余剰汚泥の減少が図られます。

4 その他の利用

飼料添加、サイレージの二次発酵防止など嗜好性の向上、排泄物の臭気の軽減が期待されます。

農業分野等において幅広く利用が可能です。

Make Cleanは畜産が地域と共存しイメージアップにつなげていくための資材です。

環境改善の成功の鍵はあなたの意識にかかっています。



これからの畜産は地域の皆さんとともに歩みます

— 特定非営利活動法人Eco Cleanup Service 21 —

環境浄化複合微生物資材を製造販売し、その収益で、畜産環境保全のための活動を実施し地域と共生する畜産経営の創出や、農業を基盤とする地域と都市住民との交流などの事業を進めるNPO法人です。